



令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和6年2月13日

上場会社名 カワセコンピュータサプライ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7851 URL <https://www.kc-s.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 啓輔
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 糸川 克秀 (TEL) 03-3541-2281
兼最高財務責任者
四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の業績（令和5年4月1日～令和5年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	1,950	3.3	△14	—	△3	—	△6	—
5年3月期第3四半期	1,888	1.0	0	△98.3	7	△81.2	35	△21.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	△1.37	—
5年3月期第3四半期	7.52	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	3,484	2,372	68.1
5年3月期	3,723	2,390	64.2

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 2,372百万円 5年3月期 2,390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
6年3月期	—	0.00	—		
6年3月期（予想）				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 令和6年3月期の業績予想（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,570	2.7	△54	—	△43	—	△54	—	△11.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年3月期3Q	5,160,000株	5年3月期	5,160,000株
② 期末自己株式数	6年3月期3Q	519,111株	5年3月期	429,111株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年3月期3Q	4,665,653株	5年3月期3Q	4,730,889株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報)	5
3. その他	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことで社会・経済活動の正常化が進んだ一方、ウクライナ情勢の長期化や中東紛争のエスカレートなど不透明な状況が続いております。

ビジネスフォーム業界におきましては、コロナ禍での企業活動の停滞は解消されつつありますが、印刷需要の回復は想定した以上に厳しいものがあり、更に原材料などの仕入れコストや光熱費が高止まりするなど厳しい状況が続いております。

このような情勢の中で、前期に新規導入した情報系設備の活用による受注業務の拡大を企図し、新規・既存を問わずBPOをメインとした定期案件の獲得や官公庁・外郭団体案件の入札参加拡大・落札に注力してまいりました。また、新規導入設備の早期安定稼働と稼働率向上を実現するための支援体制の構築、原材料、副資材をはじめ購買品についての購入先の見直しを行ってまいりました。

その結果、売上高は1,950百万円（前年同期は1,888百万円）、経常損失は3百万円（前年同期は7百万円の経常利益）、四半期純損失は6百万円（前年同期は35百万円の四半期純利益）となりました。

①ビジネスフォーム事業

企業実務のデジタル化の進展による需要の減少、得意先の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による営業自粛等の影響はあるものの売上高は前年同期と比べ、微増となり1,107百万円（前年同期は1,106百万円）となりました。セグメント利益は物流コストや原材料等の高騰もあり49百万円減少し105百万円（前年同期は154百万円）となりました。

②情報処理事業

新規案件獲得等に幅広く活動したこともあり、売上高は前年同期と比べ62百万円増加し843百万円（前年同期は781百万円）となりました。セグメント利益は、売上高が増加したものの大型機械設備導入による減価償却費等の費用負担増加もあり利益を伸ばすことは出来ず、11百万円増加し81百万円（前年同期は69百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

流動資産は前事業年度末と比べ282百万円減少し、1,755百万円となりました。これは主に「商品及び製品」が8百万円、「仕掛品」が6百万円それぞれ増加し「現金及び預金」が166百万円、「受取手形及び売掛金」が98百万円、「その他」に含まれる「未収消費税等」が49百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定資産は前事業年度末と比べ43百万円増加し、1,728百万円となりました。これは主に「投資その他の資産」に含まれる「投資有価証券」が95百万円、「保険積立金」が19百万円それぞれ増加し、「建物（純額）」が10百万円、「その他（純額）」に含まれる「機械及び装置」が26百万円、「リース資産」が31百万円、「ソフトウェア」が5百万円それぞれ減少したことによるものです。

流動負債は前事業年度末と比べ160百万円減少し、683百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる「未払消費税等」が42百万円、「預り金」が8百万円それぞれ増加し、「買掛金」が44百万円、「独占禁止法関連損失引当金」が126百万円、「賞与引当金」が15百万円、「その他」に含まれる「未払金」が25百万円それぞれ減少したことによるものです。

固定負債は前事業年度末と比べ60百万円減少し、428百万円となりました。これは主に「役員退職慰労引当金」が4百万円増加し、「長期借入金」が12百万円、その他に含まれる「リース債務」が59百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産の部は前事業年度末と比べ18百万円減少し、2,372百万円となりました。これは主に四半期純損失を6百万円計上し、「その他有価証券評価差額金」が20百万円増加しましたが、配当金を14百万円支払い、自己株式を18百万円取得したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績見通しにつきましては、売上高2,570百万円、営業損失54百万円、経常損失43百万円、当期純損失54百万円を見込んでおります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、本日公表の当社「令和6年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,499,814	1,333,358
受取手形及び売掛金	367,260	268,280
有価証券	10,037	10,009
商品及び製品	36,667	44,989
仕掛品	7,317	14,130
原材料及び貯蔵品	35,841	37,953
その他	81,755	47,301
貸倒引当金	△37	△28
流動資産合計	2,038,655	1,755,994
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	229,885	219,300
土地	414,820	414,820
その他（純額）	530,107	471,407
有形固定資産合計	1,174,813	1,105,527
無形固定資産	22,247	20,838
投資その他の資産	487,554	601,981
固定資産合計	1,684,615	1,728,347
資産合計	3,723,271	3,484,342
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,968	94,353
短期借入金	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	16,664	16,664
未払法人税等	8,647	6,485
賞与引当金	30,034	14,262
独占禁止法関連損失引当金	126,000	-
その他	202,904	231,441
流動負債合計	843,219	683,206
固定負債		
長期借入金	29,170	16,672
退職給付引当金	52,704	51,231
役員退職慰労引当金	34,474	39,034
その他	372,893	321,794
固定負債合計	489,242	428,731
負債合計	1,332,461	1,111,938
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,748,931	1,748,931
利益剰余金	631,666	611,085
自己株式	△105,338	△123,758
株主資本合計	2,375,258	2,336,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,551	36,146
評価・換算差額等合計	15,551	36,146
純資産合計	2,390,809	2,372,404
負債純資産合計	3,723,271	3,484,342

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	1,888,414	1,950,758
売上原価	1,371,048	1,471,826
売上総利益	517,366	478,932
販売費及び一般管理費	516,713	493,589
営業利益又は営業損失(△)	652	△14,656
営業外収益		
受取利息	2,975	3,859
受取配当金	3,934	3,905
作業くず売却益	611	1,001
保険解約返戻金	2,293	—
その他	3,661	11,412
営業外収益合計	13,476	20,178
営業外費用		
支払利息	5,432	8,643
その他	838	500
営業外費用合計	6,271	9,144
経常利益又は経常損失(△)	7,857	△3,622
特別利益		
固定資産受贈益	35,060	—
投資有価証券売却益	16,088	3,720
補助金収入	—	80,000
特別利益合計	51,148	83,720
特別損失		
固定資産除却損	7,367	0
固定資産圧縮損	—	80,000
電話加入権評価損	1,736	—
原状回復費用	4,358	—
独占禁止法関連損失	3,488	—
特別損失合計	16,950	80,000
税引前四半期純利益	42,055	98
法人税、住民税及び事業税	6,485	6,485
法人税等合計	6,485	6,485
四半期純利益又は四半期純損失(△)	35,570	△6,387

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和5年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式60,000株、令和5年8月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式30,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において自己株式が18,420千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が123,758千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
外部顧客への売上高	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,106,936	781,478	1,888,414	—	1,888,414
セグメント利益	154,756	69,204	223,960	△223,307	652

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	ビジネス フォーム事業	情報処理事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
外部顧客への売上高	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,107,267	843,490	1,950,758	—	1,950,758
セグメント利益	105,525	81,007	186,532	△201,189	△14,656

(注) 1. 「調整額」の区分は全社費用を記載しております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業損失と調整を行っています。

3. その他

該当事項はありません。